

教科名〔 国語 〕

科目名	単位数	学年・組	担当者名
古典	2単位	3年1～6組	*

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>古典的語彙をできるだけ多く修得する。</p> <p>古典文法の学習を深める。</p> <p>古典的名作を読み、固有の情緒や、描かれた文学的世界を味わう。</p> <p>古典の面白さを発見する。</p>
使用教科書・副教材等	<p>東京書籍『新編古典』 第一学習社『カラー版新国語便覧』 桐原書店『解析古典文法』 大修館書店『全訳古語辞典』 プリント教材</p>

2 学習計画及び評価法等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 1. 学習活動の特記事項 2. 副教材の使用など	考查範囲	評価の観点のポイント				
						態度 関心・ 意欲	思考・ 判断	技能・ 表現	知識・ 理解	
第1学期	『枕草子』 「うつくしきもの」「中納言参り 給ひて」「野分のまたの日こそ」 「雪のいと高う降りたるを」 難しい語句の意味を調べる。 脚注も参考にしながら口語訳を する。	4 ・ 5	平安時代の女流文学の第一人者の随筆を味わう。作者固有の感性を込めた語彙に注意し、作品全体に見られる才気を味わう。敬語については敬意の対象を正しく把握する。		第1学期 中間 考查					
	『大鏡』 「花山天皇の出家」「若き日の道長」 難しい語句の意味を調べる。 脚注も参考にしながら口語訳を する。	5 ・ 6 ・ 7 ・ 8	ドラマチックに、かつリアルに語られた史実を読み味わう。作品の背景にある歴史的事実にも詳しく触れ、作品の持つ迫力をより強く受け止められるようにしたい。		第1学期 期末 考查					
第2学期	『更級日記』 「門出」「物語」 『蜻蛉日記』 「なげきつつひとり寝る夜」 難しい語句の意味を調べる。 脚注も参考にしながら口語訳を する。	9 ・ 10	日記を通して、平安期の貴族の女性の自我・固有の心理世界の形成を読み取る。 プライドの高い貴族の女性の心理的葛藤を読み取る。		第2学期 中間 考查					

	『源氏物語』 「若紫」 難しい語句の意味を調べる。 脚注も参考にしながら口語訳をする。	10 ・ 11 ・ 12	源氏物語の中でも比較的内容が単純な「若紫」を読んで、ものあわれに触れる。若紫の無垢で純真な人物像を捉える。時間があれば「桐壺」も読んで、源氏の原点を知る。		第2 学期 期末 考査				
第3 学期	『去来抄』 「行く春を」「岩鼻や」「此木戸や」 難しい語句の意味を調べる。 脚注も参考にしながら口語訳をする。	1 ・ 2 ・ 3	俳論を読むことで、俳句の形成過程を知り、また味わいどころを把握する。		学年 末 考査				
【1・2・3学期における課題・提出物等】 授業で使用したすべてのプリント、ノート、長期休暇中の宿題、その他折々の課題。									
【1・2・3学期における評価方法】 定期考査(約70%) 平常点(出欠・授業中の態度・提出物等 約30%) 1・2・3学期の成績の出し方は内規通り。									